

第1回

総合計画

Yu-Me（ゆめ）会議

福島市の未来を語る100人！

日時：令和元年6月22日（土）

午後1時30分～午後4時30分

会場：福島市市民会館 第2ホール

開会



**本日はご参加いただき
誠にありがとうございます**



- ◆受付で指定された席（グループ）にお座りください。
- ◆テーブルの上にあるカードにお名前を記入して名札ケースに入れて着用してください。
- ◆テーブルにあるお菓子はご自由にお食べください。
- ◆会場後方にある飲み物はご自由にお飲みください。
- ◆ゆめ会議の風景は写真に撮り、市HPなどに掲載することがあります。

1

10代から70代まで100人が参加！

高校生や大学生、無作為や公募により選ばれた方、市内で働いている方、関係団体の方など、多世代・多種多様な市民の皆さんが参加しました。

木幡浩 福島市長あいさつ

東京オリンピックの開催
や古関裕而ご夫妻をテーマとした朝ドラなど、
福島市は今、これまでにない絶好のチャンスを迎えています！



新しい総合計画の策定に向けて、
これから一緒に頑張っていきましょう！

説明① ～事務局からのお願い～



Yu-Me (ゆめ) 会議の風景は写真に撮り、ホームページなどで使わせていただくことがあります。

説明② 総合計画の策定体制

2019年度(令和元年度)

2020年度(令和2年度)

市民

総合計画Yu-Me(ゆめ)会議(市民ワークショップ)

【Yu-Me(ゆめ):you_make_together(ユーマイクトウギャザー、あなたと一緒に作る)、夢や希望のもてるまちにする総合計画】

…学生や無作為抽出、公募による市民等で構成(100名)し、対話により多様な意見を出し合う。

市民参画アドバイザーは対話しやすい場となるよう、進行やコーディネートを担当。

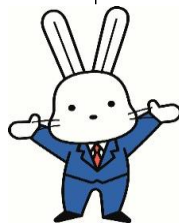
市民参画
アドバイザー

【2019年度:6/22、7/27、8/10、9/7、10/12 土曜日】

○「将来どのような福島市になると良いか?」、「福島市の強みや弱みは?」など、各ワークショップのテーマに応じた対話を通して意見(キーワード)などを出し合います。

【2020年度】

○「どのような取り組みをすると目指す姿に近づくか?」、「力を入れていくべき取り組みは?」など、各ワークショップのテーマに応じた対話を通して総合計画の案をより良いものに仕上げます。



有識者

ふくしま新ステージ有識者懇談会

【震災から10年、「その先」へ向けて県都福島市が目指す姿を描く総合計画】

…経済や産業、報道などの各界の代表等で構成(13名)し、専門的な知見から議論。

【2019年度】

○市が本市の現状や課題などの情報を提供し、意見を収集します。
○策定委員会や有識者懇談会の内容をフィードバックします。

【2019年度】

○本市が目指すべき将来のまちの姿(将来構想)や政策の方向性など、総合計画の根幹となる部分を中心に議論し、助言や提言を行います。

【2020年度】

○本市が目指すべき将来のまちの姿(将来構想)などを実現するための重点施策や施策の方針などを中心に議論し、助言や提言を行います。

【2020年度】

○市が目指すべき将来の姿や政策の柱などの情報を提供し、意見を収集します。
○策定委員会や有識者懇談会の内容をフィードバックします。

【2019年度～2020年度】

○市がYu-Me(ゆめ)会議の意見などを踏まえて作成した総合計画素案などを提示し、意見を伺います。

行政

総合計画策定委員会・幹事会・ワーキンググループ(庁内組織)

…Yu-Me(ゆめ)会議や有識者懇談会の意見などを踏まえ、総合計画の原案を策定。

説明③ Yu-Me(ゆめ)会議とは？

高校生
大学生

公募

お勤め
の方

無作為
抽出

関係
団体

多世代・多種多様な**市民100人**が「対話」を通して、日頃から感じていることを話し合い、意見や想いを出す場です。

Yu-Me(ゆめ)会議の「対話」でキーワードを抽出！

ふくしま新ステージ有識者懇談会などにキーワードを報告。
これらを参考にしながら、総合計画の素案を作り上げます。

講話 いっしょにやる、ということ

～今、なぜ「対話」を活かした市民参画が求められているのか～

対話は掛け算です。
どちらか一方だけでは
「対話」とは言えません。



福島市総合計画市民参画アドバイザー 加留部 貴行 先生

「対話」 = 「聴く」 × 「話す」

講話 いっしょにやる、ということ

～今、なぜ「対話」を活かした市民参画が求められているのか～

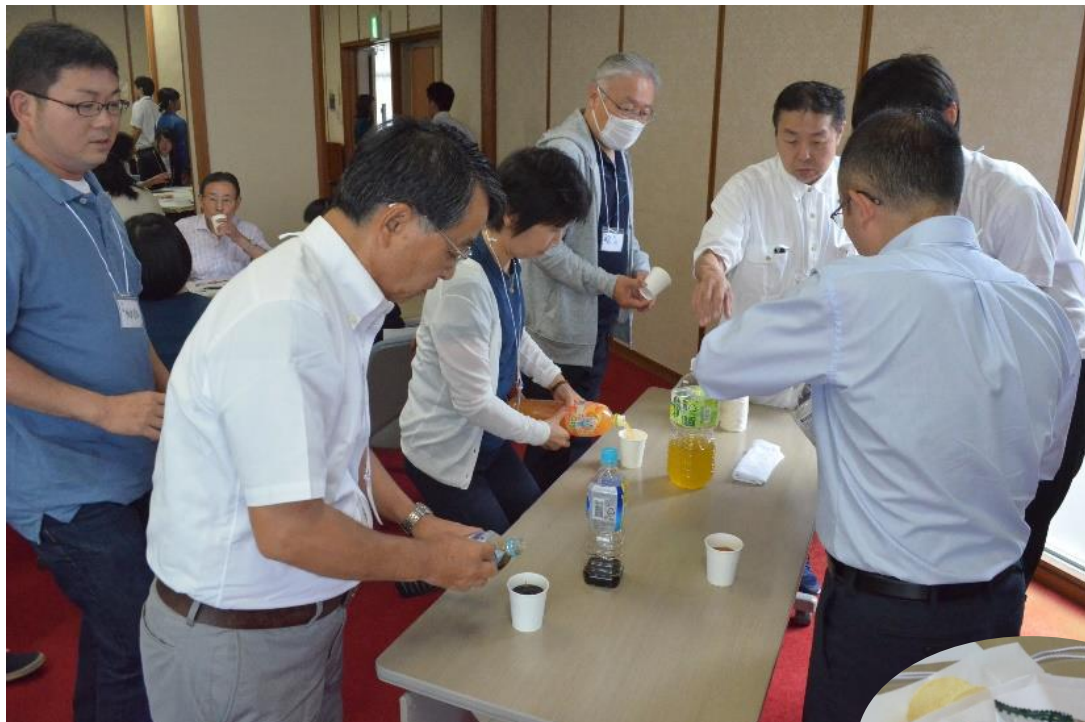


「聴く（きく）」とは
「聴す（ゆるす）」こと
です。



話をしていそうで、話をしていない人同士で、話をする。
そこから「共有」と「共感」が生まれ、初めて「協働（共働）」する
ことができます！

休憩



皆さんがリラックスして「対話」できるように、お菓子や飲み物を準備しました。

BGMには福島市の名誉市民 古関裕而さんの音楽も流れていい雰囲気♪



お菓子や飲み物は、どうぞご自由に！



ワークショップ① ルール

- ➡ 話すこと以上に
「聴く」 ことを大切に
- ➡ 否定せずに耳を澄ます
- ➡ 自分だけが正しいと
思わずに、断定しない
- ➡ **らくがきでメモ**を残そう

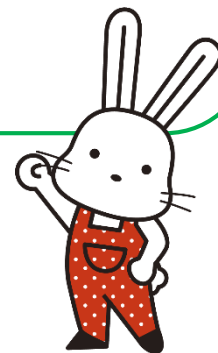


ワークショップ② 最初に自己紹介



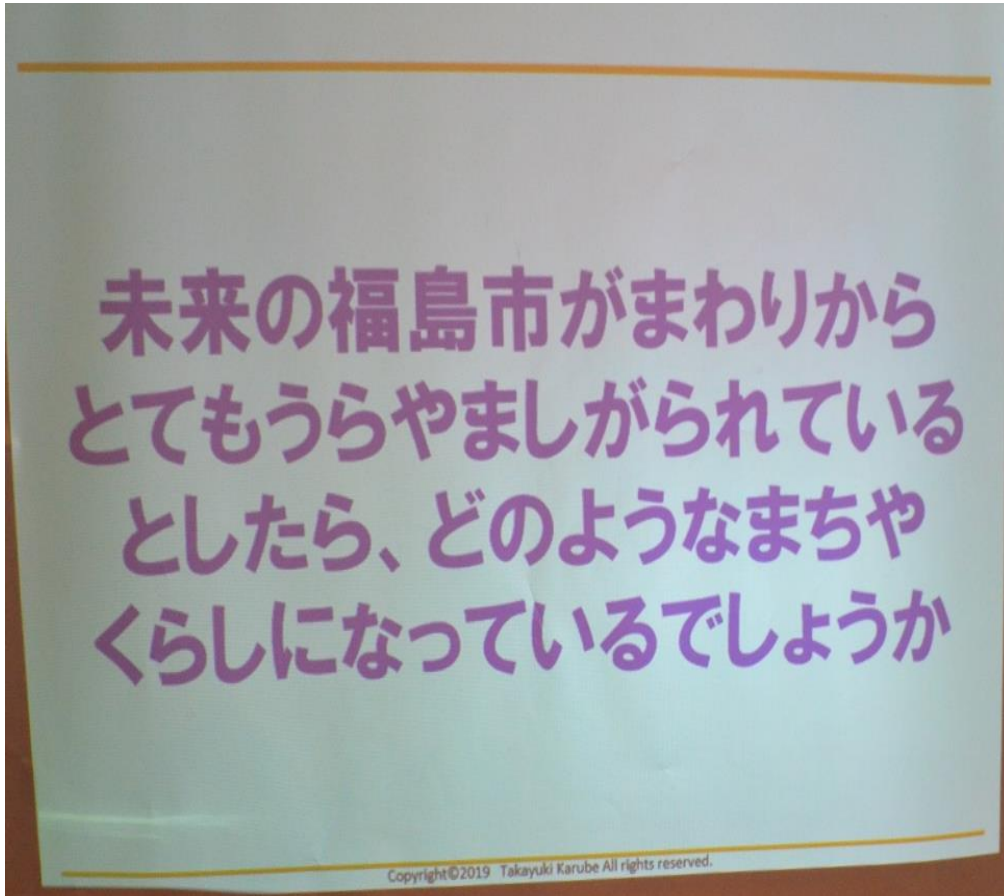
皆さん笑顔で自己紹介をしていました。

すぐに仲良くなって会場全体に笑い声が響いていました。



ひとり1分くらいでグループのメンバーに自己紹介します。

ワークショップ③ テーマ発表



未来の福島市がまわりから
とてもうらやましがられている
としたら、どのようなまちや
暮らしになっているでしょうか

テーマを模造紙の真ん中に書きます。

ワークショップ④ 進め方

- ➡ グループで20分話し合った後、一人を残して、**全員席替え**します。
- ➡ 残った一人は、新しく来た人にグループで出ていた話を説明します。
- ➡ 新しく来た人は、自分のグループの話題を話してください。
- ➡ 新しいグループで20分話し合った後、再び元のグループに戻って話し合います。



ワークショップ⑤ こんな感じでした



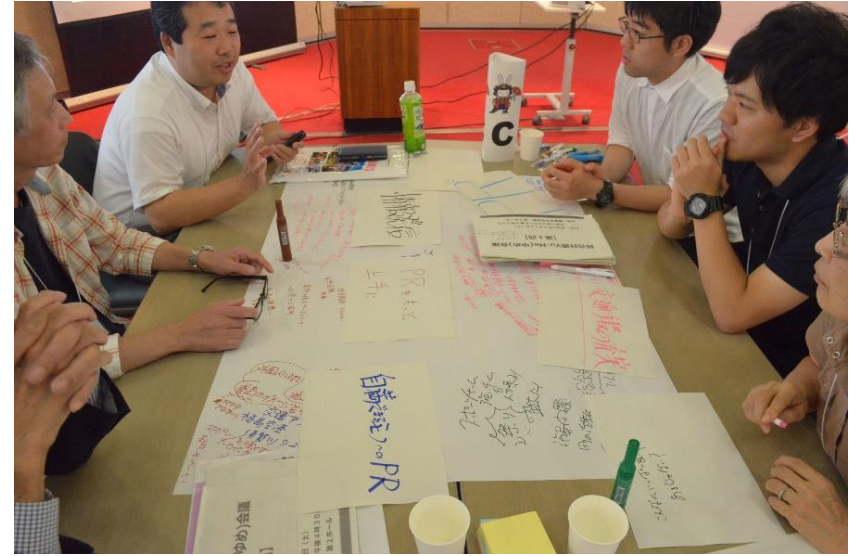
まわりからうらやましが
られる福島市…



皆さん楽しそうに、そして真剣に話し合ってます。

ワークショップ⑥ 振り返り

あなたが気になった
うらやましがられるための
キーワードは何でしたか



A4用紙に皆さんが気になったキーワードを書き出して見せ合います。

ワークショップ⑦ 全体共有



A 4 用紙をテーブルに置き、ほかのテーブルのキーワードを皆さんで見回ります。

ワークショップ⑧ 全体共有

PR	自前へのPR	情報発信
PRをもっと上手に	交通手段の充実	このPRを上手に発信する?
・全世代に訴求できるPR ・未来の選定権 ・福島市に合ったPRの確立 ・農産物産物の多様化	福島⇒名物 果物花菜	情報発信 資源を有効活用
・うらやまが本気は 知ってもらってOK! ・モリよりコト!	街自体が全て完結して 街づくり(生活環境) コトにフォーカスして 情報発信をしよう	今の子世代はスマホ一つ でいかに世界中とつながるのか (方法として) 建設的な 議論が必要

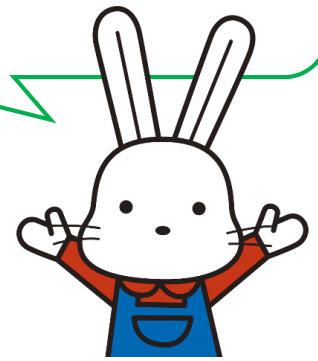
点と点を結ぶ 「交通網」	素材を生かす	人口増加
人と環境を結ぶ 人と自然が共生できる	人水 気候 くすくす 食べ物	素材の最適はPR -人をつかめる-
公共交通機関の充実 人と自然が共生できる	学生が 暮らしやすい	観光客の誘致 ・公共交通機関の充実 ・SNS活用
楽子ン・便利 安心安全 住みやす 食への美味い	・公共交通の発達 ・観光特産品 ・情報発信量のUP	交通機関 ・情報発信 ・観光特産品

人が多くてにぎやかな (安心 安全 安心)	夏が人気 自然環境 が魅力 四季折々の 自然環境	子供・教育
	住み心地の良さ (人とのつながり など)	自然の良さ 水がおいしい
日本のものごとが 好き	「ふくしまの良さ」を 伝える一環	知れぬ魅力を

No.1000		PRを上手にする (方法として)
みんなに伝わるPR 楽しいPR 福島の良さを伝える ポイントが3つ	① 地域PRの活用 ② 地域PRの活用 ③ 地域PRの活用	温泉 果物 安心 これだけ
是非が 一番	便利	全世代安心安全 活気あるまち 適度な利便性
子育て世代の安心 子育て世代の安心 子育て世代の安心	子供	子ども (子育て) 自覚

	人権・環境・安全 公共交通機関の 充実	・現在住んでいる市民の 満足度向上 観光 交通機関 住環境の向上
	・今住んでいる市民の 満足度向上 観光 交通機関 住環境の向上	若者 子育て 自然 市民満足度(安心)
楽しい教育(鞍) 足湯(駅前)	・良さを発信できる環境がある ・交通アクセスの良さ ・多様性の認知	観光の魅力を発信 子育て世代の安心 子育て世代の安心
	わかりやすい魅力の発信 交通機関の充実	国際交流の場 駅前(無料)足湯

皆さんからたくさんの
キーワードをいただきました!



ワークシヨップ⑨ 全体共有

くらし系	交通	居住性
元気 活性	若者が定住し、子育てしやすい環境がある	公共交通機関のアクセス
高齢になっても元気に働く環境がある	若者の定住	環境整備
若者が定住し、子育てしやすい環境がある	若者の定住	環境整備
若者が定住し、子育てしやすい環境がある	若者の定住	環境整備

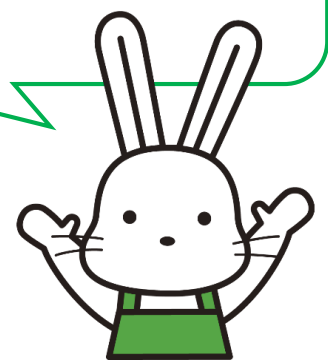
自然	人間力	
子育て・環境 (子育て支援)	交通の充実	若者定住 資源活用 環境が優れている
残りたいと思う環境を創出する	教育のLEVEL UP	若者の定住
若い人が住みたい町 交通の便の工夫	若い人が住みたい町	若者の定住
		若者の定住

おもしろい町 若者が定住し、子育てしやすい環境がある	堂々!! 自信を持って!! 誇りを持って!!	おもしろい町 若者が定住し、子育てしやすい環境がある

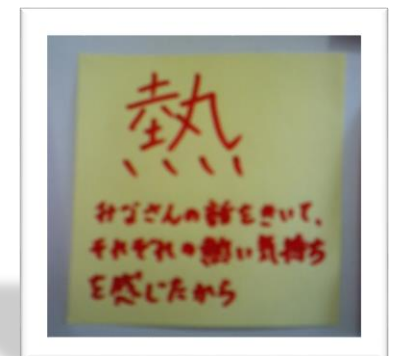
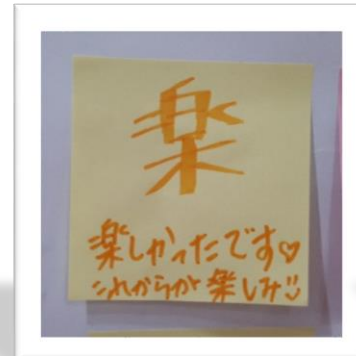
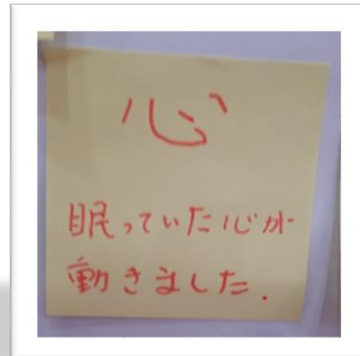
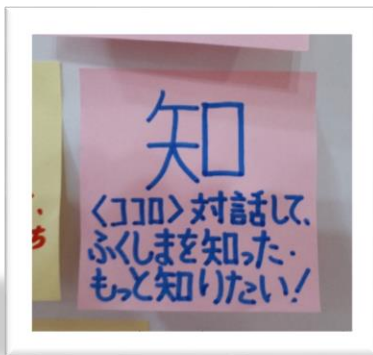
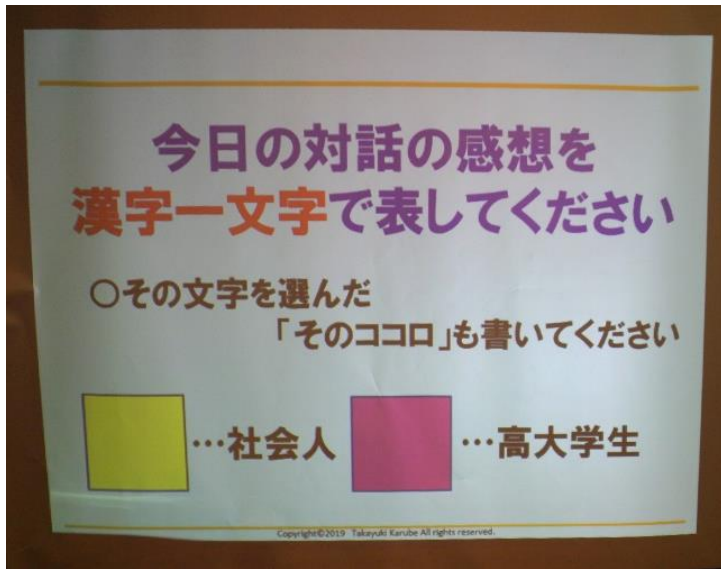
若者の定住 若者の定住 若者の定住	若者の楽しみ 生活	若者の楽しみ 生活
若者の定住 若者の定住 若者の定住	若者の楽しみ 生活	若者の楽しみ 生活
若者の定住 若者の定住 若者の定住	若者の楽しみ 生活	若者の楽しみ 生活
若者の定住 若者の定住 若者の定住	若者の楽しみ 生活	若者の楽しみ 生活

公共交通機関 若者が定住し、子育てしやすい環境がある	若者の定住 若者の定住 若者の定住	若者の定住 若者の定住 若者の定住
若者の定住 若者の定住 若者の定住	若者の定住 若者の定住 若者の定住	若者の定住 若者の定住 若者の定住
若者の定住 若者の定住 若者の定住	若者の定住 若者の定住 若者の定住	若者の定住 若者の定住 若者の定住
若者の定住 若者の定住 若者の定住	若者の定住 若者の定住 若者の定住	若者の定住 若者の定住 若者の定住

皆さんからたくさんの **キーワード**をいただきました!

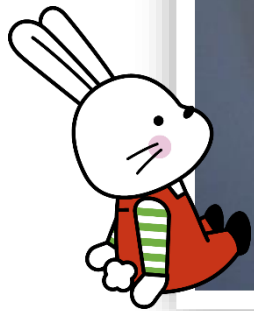


ワークショップ⑩ 対話の感想



今日の対話の感想を「漢字一文字」で付箋に
書いてテーブルで発表します。

Yu-Me (ゆめ) 会議に参加して…



すてきな感想をたくさんいただきました。

市長からの感想（講評）



今日の私の感想を漢字一文字で表すと「刺」です！

私も刺激になりましたし、皆さんも多くの人と混ざり合って刺激になったのではないのでしょうか？

皆様のご意見が「刺」さりました！

今後のスケジュール

■ 令和元年度

日時	内容 & 会場（現時点での予定です）
第1回（本日） 6月22日（土） 午後1時30分 ～4時30分	○事務局から説明（Yu-Me（ゆめ）会議の役割 など） ○講話（総合計画市民参画アドバイザー 加留部貴行 氏） ○ワークショップ ・まわりからうらやましがられる未来の福島市とは？ 会場 福島市市民会館 第2ホール
第2回 7月27日（土） 午後1時30分 ～4時30分	○ワークショップ（グループワーク） ・福島市のもっと伸ばしたい「強み（いいところ、資源）」、 ぜひ解決したい「弱み（悪いところ、課題）」 会場 福島市市民会館 第2ホール
第3回 8月10日（土） 午後1時30分 ～4時30分	○ワークショップ（グループワーク） ・まちづくりシミュレーションゲーム 会場 福島市市民会館 第2ホール
第4回 9月7日（土） 午後1時30分 ～4時30分	○ワークショップ（グループワーク） ・関心があるテーマごとに福島市の「強み」と「弱み」を 深掘り 会場 福島市市民会館 第2ホール
第5回 10月12日（土） 午後1時30分 ～4時30分	○ワークショップ（グループワーク） ・福島市の「未来の新聞」をつくろう 会場 福島市市民会館 第2ホール

■ 令和2年度

日時	内容 & 会場（現時点での予定です）
第6回 5月	○事務局から説明（進め方、1年目の振り返り など） ○ワークショップ（グループワーク） ・あなたの気になる政策・施策 など
第7回 6月	○ワークショップ（グループワーク） ・施策について意見交換 など
第8回 7月	○ワークショップ（グループワーク） ・施策について意見交換 など
第9回 8月	○ワークショップ（グループワーク） ・施策について意見交換 など
第10回 9月	○総合計画（素案）について意見交換



最後に皆さんで集合写真！

